



特集号

浅江小だより

～あかるく さやかに えがおで そしてたのしく～

<http://blog.canpan.info/asae-e/>

光市立浅江小学校 校長 和田 明俊

令和4年度 臨時号
光市光ケ丘2番10号
TEL (0833)72-0039
令和5年3月1日

令和4年度 12月末学校評価アンケートのまとめ

保護者の皆様には、12月末学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。70%を超える保護者の皆様方にご回答いただき、感謝いたします。この評価結果を7月末評価結果と比較しながら下記のとおり、4点にまとめて分析しました。この結果を踏まえて来年度の学校運営に生かして参りたいと思います。

【グラフの見方について】

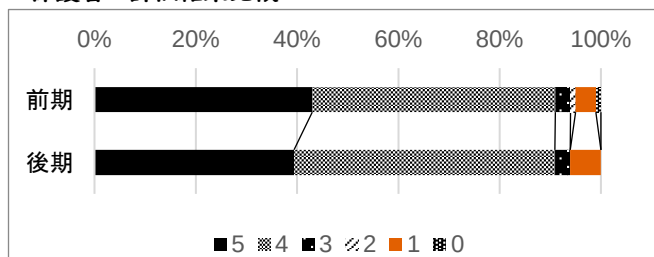
5・・・とてもそう思う 4・・・そう思う 3・・・あまり思わない 2・・・ほとんど思わない 1・・・分からない 0・・・無回答

※評価5及び4を「肯定的評価」、評価3及び2を「否定的評価」としています。

1 あさなえネットの取組が生きた評価結果

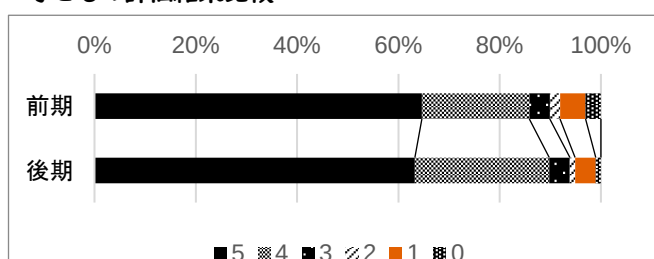
①学校は、学校・地域連携カリキュラムを基に、家庭・地域・学校が一体となった教育活動を展開しながら、子どもの様子や教育活動の情報を発信し、共有できるようにしている。

<保護者の評価結果比較>



②浅江の人と関わったりふれあったりすることが楽しい。

<子どもの評価結果比較>



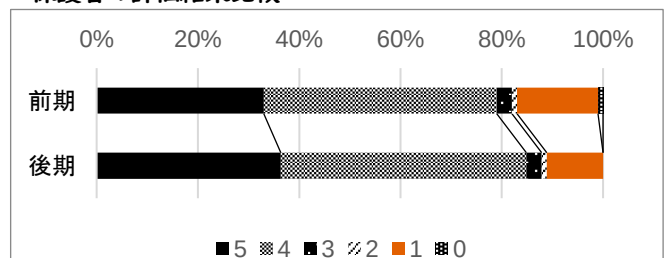
①②とも、保護者・子どもの肯定的評価が約90%でした。これは、浅江小独自の地域連携活動やPTA活動をコロナ禍に応じた形で行えたこと、その中で子どもたちが保護者・地域の皆様としっかり関わり合えたことの成果だと考えます。家庭・地域のご協力に心より感謝いたします。今後さらに、子どもたちが多くのつながりの中でより成長を実感できるように、家庭・地域・学校が一体となった教育活動を推進し、その情報を発信しながら活動の充実を図っていきます。



2 取組の成果が見られる評価結果

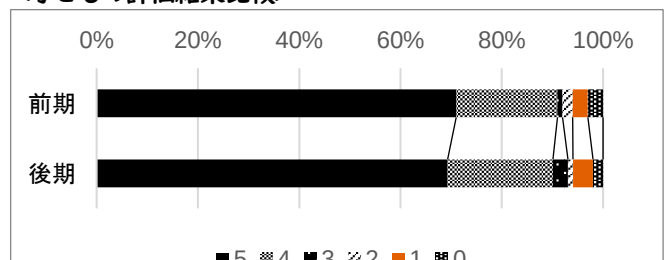
①学校は、分かりやすい授業づくりに努めている。

<保護者の評価結果比較>



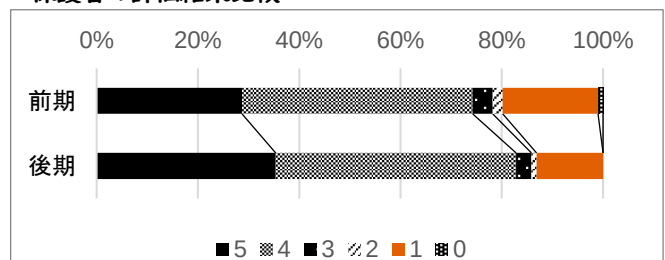
②授業は、分かりやすい。

<子どもの評価結果比較>



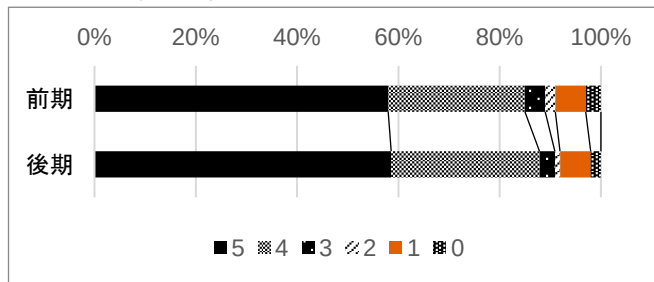
③学校は、友達や先生と一緒に話し合いながら、考えを深める授業づくりに取り組んでいる。

<保護者の評価結果比較>



④授業では、友達や先生と話し合う活動をよく行っている。

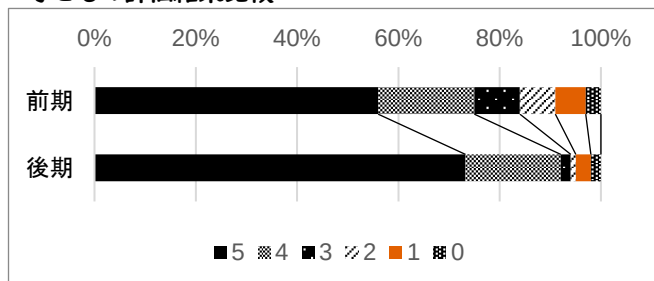
<子どもの評価結果比較>



①②「分かりやすい授業」、③④「考えを深める話し合い活動」では、保護者・子どもたちともに90%まで肯定的評価が増加しました。これは体育の授業づくりを中核とした取組、タブレット端末を活用した授業の成果と言えます。今後も、参観日を通じて子どもたちの様子をご覧いただく機会を確保していきます。そして、子どもたちの学力向上に向けて「誰もが分かる授業」「仲間と対話し、学び合う授業」を大切にします。

⑤学校は、楽しい。

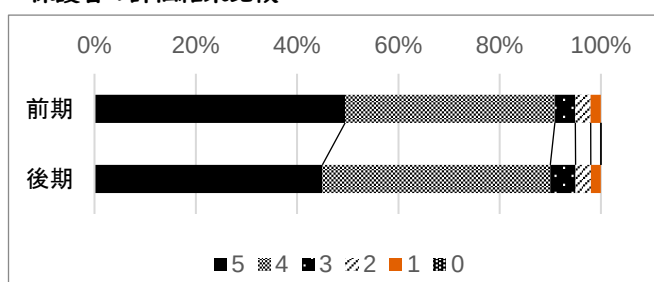
<子どもの評価結果比較>



⑤について子どもたちの肯定的評価が90%以上まで増加しました。保護者の「子どもは学校に行くことを楽しみにしている」についても約90%の肯定的評価をいただいています。これからも「子どもたちが生きたくなる学校」をめざし、家庭・地域との連携を大切にしていきます。

⑥学校は、子どもの安心・安全に配慮した登下校に取り組んでいる。

<保護者の評価結果比較>



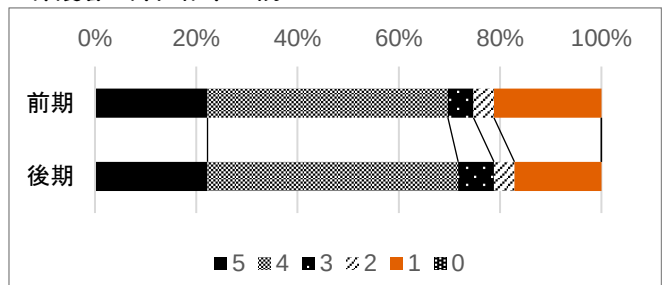
⑥については、約90%の肯定的評価となりました。交通安全担当を中心に登校時・下校時の見守り指導を強化している成果です。また、保護者・地域の見守りボランティアの方々のご支援のおかげとも言えます。登下校の課題を一つひとつ改善しながらさらに取組を進めています。



3 取組の課題が見られる評価結果

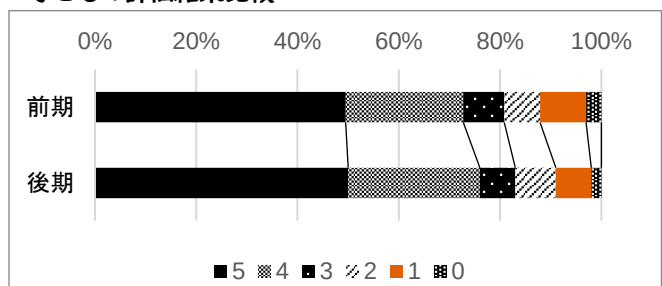
①学校は、浅江中との一貫教育を意識し、つながりのある教育活動を実践している。

<保護者の評価結果比較>



②上級生や中学生になることを楽しみにしたり、上級生や中学生にあこがれをもったりしている。

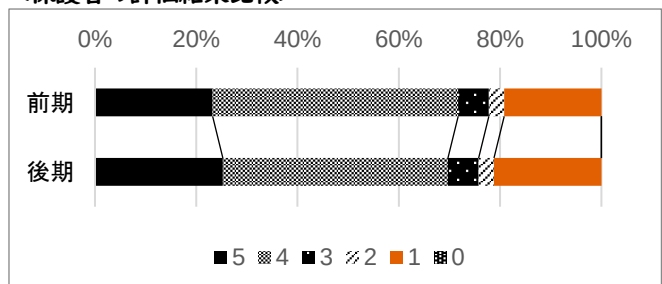
<子どもの評価結果比較>



①②は小中一貫教育の取組に関する保護者・子どもの項目です。どちらもやや増加しているものの70%を超える程度で、つながりを十分実感してもらえていないことが課題です。現在、CSコーディネーターの意見をもらいながら来年度からの一貫教育の取組の一手を構想しているところです。これからも保護者・地域の皆様の声を受け止めながら推進していきますので、ご意見やご要望をぜひお聞かせください。

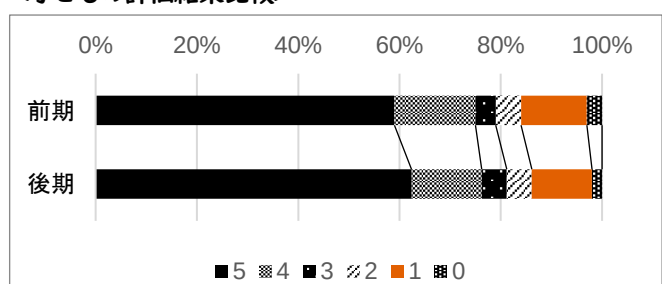
③学校は、家庭・地域と連携しながら、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。

<保護者の評価結果比較>



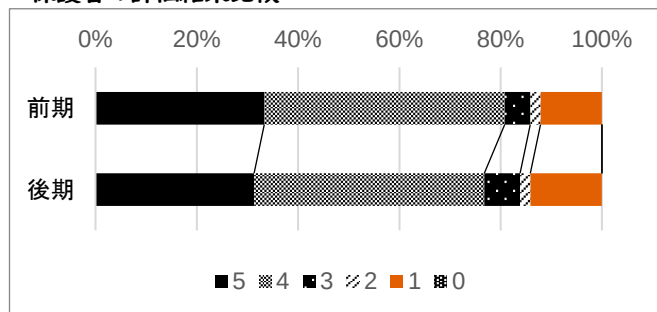
④自分やまわりの人は、いじめを受けていない。

<子どもの評価結果比較>



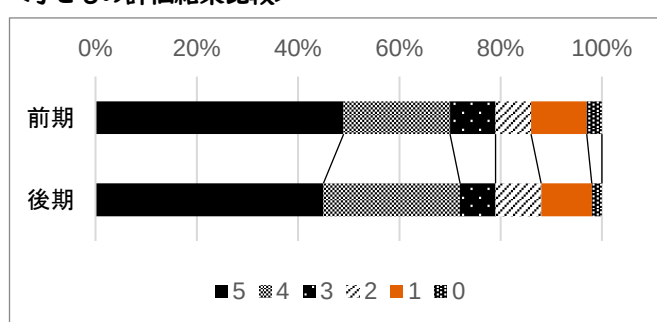
⑤学校は、一人ひとりの子どもを大切にした教育相談に取り組んでいる。

<保護者の評価結果比較>



⑥自分は、先生に困っていることを相談しやすい。

<子どもの評価結果比較>

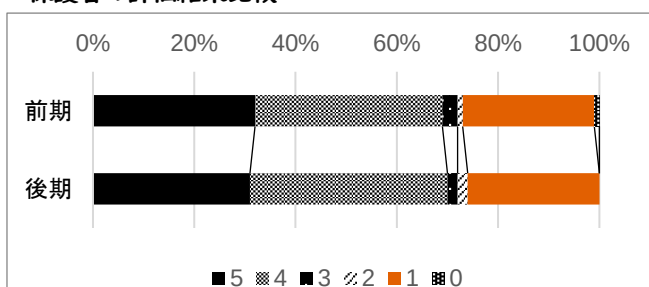


③④いじめの項目、⑤⑥教育相談の項目では保護者の肯定的評価が下がりました。また、保護者・子どもたちともに約30%程度が、否定的評価・「分からない」という結果でした。この結果については、学校としては深刻に受け止めています。特に、約30%の子どもたちが「いじめを受けている」「先生に相談しにくい」と感じていることは大きな課題です。子どもたちや保護者の皆様の声に寄り添いながら、迅速に、そして丁寧に対応していきます。これからも保護者・地域の皆様と情報共有を密にしながら、この問題に真剣に取り組んでいきます。

4 「分からない」の回答が多かった評価結果

①学校は、子どもが黙ってそうじをできるように取り組んでいる。

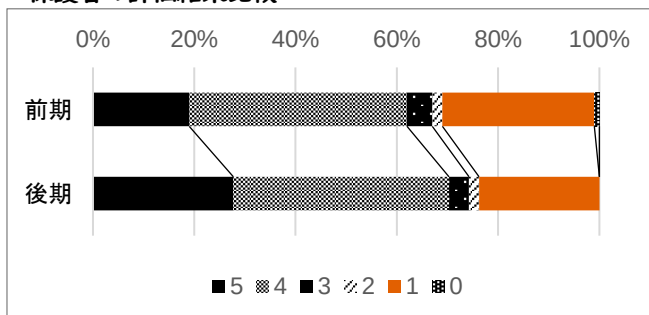
<保護者の評価結果比較>



前・後期とも約30%程度が「分からない」という回答結果でした。この①については設問自体の問題点も否めません。黙って掃除することが目的ではないからです。後期より浅江中生徒から「心を磨く掃除の仕方」を教えてもらったり、全校縦割り班そうじを導入して中学生から学んだ掃除の仕方を広げたりしているところです。このように、自ら働くよさや人のために働く喜びを実感させることを大切にしたいと考えています。そして、自分や友達のよさを認め合う場にしていきたいと考えています。

②学校は、ICT機器を活用した授業づくりに取り組んでいる。

<保護者の評価結果比較>



後期は保護者の肯定的評価が約70%にまで上昇しましたが、「分からない」と回答した方が依然として約25%いることが課題です。タブレット端末を活用した授業公開やタブレット端末活用の学年・学級差、オンライン授業導入の検討等に対する課題であると受け止めます。今後は「児童が活用するタブレット端末」について学年ごとの使い方の目安をつくり、実践していきたいと思います。また、タブレット端末の家庭への持ち帰りについては、タブレット端末の活用機能を生かした課題を出したり、それを使って作成した成果物を保護者の方々に見ていただいたりする方法を工夫したいと思います。オンライン授業についても、行い方を今後検討していきたいと思っています。



自由記述「保護者の皆さんからのご意見・ご要望」について

保護者の皆様から多くのご意見・ご要望をいただき、ありがとうございました。その概要は以下にすべてお示しいたします。

＊授業におけるタブレット端末の活用促進

＊子どもたちのあいさつの実態

＊送迎の車の通行と子どもの歩行

＊登下校時における子どもの見守り

＊コロナ禍における学校・教員の対応

＊楽しみに学校に通っている子どもたち

＊学校への連絡方法の改善

＊学年PTA活動・PTAバザー

＊閉鎖時等のオンライン授業の実施

＊不審者対策

＊通学路の問題

＊下校時の子どもの様子

＊コロナ禍での子ども同士のコミュニケーション不足

＊参観日等の学校行事における曜日・時間帯の偏り

＊学校への提出物や学校からの配付物

＊学校評価の時期

その他、学校に対する意見や要望等は、いつでも承りますので、お気軽にご相談ください。

「学校運営協議会委員さんのお気付き」について

学校運営協議会委員さんのお気付きの一部を紹介します。

- 学校評価の目的が保護者に理解されるためには、評価目標が見えることや学校教育目標の理解が必要になる。さらに、小中一貫教育が加われば、理解がさらに難しくなる。そこで、保護者に理解してもらうためには、評価目標と評価項目の関連が分かる図があるとよいであろう。
- 保護者の自由記述で、うまく学校側からの情報や思いが伝え切れていない事項が多いように思えた。情報の重要性に応じた伝達方法を検討する必要性があるように感じた。
- 子どもたちの能力を伸ばすには、落ち着いた環境での集中した授業づくりが大切だと思う。多様な個性をもった子どもたちに学校・家庭は粘り強く接してほしい。
- 保護者の自由記述の中で、なるほどと思われるものが見受けられた。できる限り前向きに検討してほしい。
- 小中一貫あさえ学園がはじまって、9年間を見通した学校・地域連携カリキュラムをみんなでつくり、評価改善することが重要になってきている。その場に、児童生徒や保護者、地域を加えて共有しながら進めてほしい。

⇒保護者・学校運営協議会委員の皆様、貴重なご意見やお気付きをいただきまして、心より感謝いたします。いただいたご意見等一つひとつをしっかりと受け止め、来年度からの学校運営・教育活動に生かしていきます。そのためには、家庭・地域とのつながりが欠かせません。よりいっそう家庭・地域・学校のつながりを太くしながら、より一体となった取組を推進しますので、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

